

# おめでとう！ 冤罪晴らした桜井さん杉山さん

## 実った布川事件守る会の35年 祝賀パーティーに120人参加

2011年10月10日 平和と労働センター



総会で挨拶する坂屋光裕再審・えん罪事件全国連絡会事務局長  
 必要から、今  
 回の総会で34  
 回総会決定の  
 解散時期を見  
 直す必要が生  
 じること、②  
 「冤罪布川事  
 件の国家責任  
 を明らかにす  
 る会」の設立  
 のめどが来春  
 まで立たない  
 こと、などが  
 ら、新たな方  
 針として①11  
 月27日の「シ  
 ョージとタカ  
 オ」利根町上  
 映会を成功さ

桜井昌司さんが逮捕されてから44年目の10月10日、布川事件守る会第35回総会が平和と労働センターで約100名の参加で開かれました。  
 6月7日の布川事件無罪確定を受けて、6月18日開かれた前回の第34回総会で、①守る会の解散総会を10月10日に行う、②「冤罪布川事件の国家責任を明ら

かにする会」の設立準備を進め、11月に正式に立ち上げる、等を確認しました。しかし、その後8月31日、布川事件弁護団の柴田五郎団長、塚越豊事務局長、山本裕夫前事務局長の連名で、①守る会を東京弁護士会主宰「人権賞」の候補として推薦いただいたため、来年1月10日の受賞式に受け取る主体が存在する

布川事件守る会第35回総会開く

解散は来年5月に

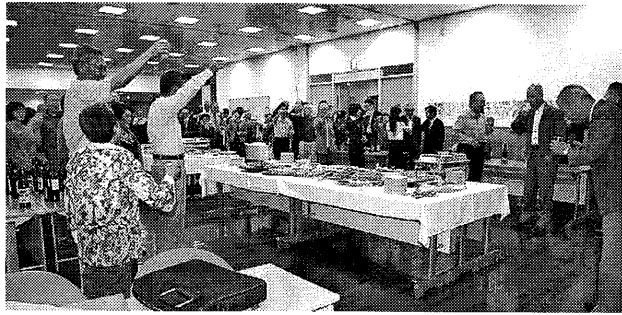
# 布川事件二ニュース

桜井昌司さん・杉山卓男さんを守る会  
ふかかわ

第377号  
 〒113-0034  
 東京都文京区  
 湯島2-4-4  
 平和と労働センター  
 ・全労連会館5F  
 ☎03-5842-6464

# 福原画伯の大作贈られる

## 桜井さん・杉山さん描いた「布川の二人」



35年にわたる守る会活動を締めくくると「終結記念祝賀パーティー」が、120人を超える人たちの参加で、総会に引き続いて同じホールで開かれました。

パーティーは始めに蒲田孝代代表世話人からのあいさつの後、福原真志画伯によって描かれた大きな肖像画「布川の二人」が桜井さん、杉山さんに贈られました。つづいて「写真で綴る安井純夫救援会東京都本部会長（右端の首頭で乾杯）写真（総会も）・塩田哲子さん

44年」というスライドが流され、若かった昔の写真が出るたびに、会場がわきました。また、弁護団には長年にわたるご労苦に、守る会からささやかな記念品カバのペーパーウエイトが、一人ひとりに手渡されました。参加された先生方からは、いろんな思い出が語られました。筋弛緩剤のえん罪事件でたたかう守大助さんのご両親も仙台から参加され、また鑑定でお世話になった押田重實先生、守る会の第2代会長・故高木幹太牧師の所属されていた北千住教会の牧師・平沢功さんなども参加、みなさんから祝辞をいただきました。

布川事件守る会の長く広い闘いを思い出し、和氣藹々として和やかなパーティーでした。

（守る会・山川清子）

### 今後の行動予定

▽11月20日（日）

「ショージとタカオ」

上映利根町宣伝行動

集合11午前10時15分

布佐・松島洋事務所

▽11月27日（日）

「ショージとタカオ」

利根町上映会

場所11利根町公民館

時間11午後1時開場

20012年

▽1月10日（火）

東京弁護士会「人権賞」

授賞式

せる。②事務局は2012年3月31日まで体制を継続し、今年度中に『守る会活動報告集』を編集・刊行する。③2012年5月中に布川事件再審・無罪判決1周年記念を兼ねた第36回総会開催をもって会の活動を停止することを提案・了承されました。

なお、財政については「ショージとタカオ」利根町上映会のカンパ要請は別として、第35回総会以降、会費・カンパの徴収は行わない。今年11月と来年2月頃を守る会ニュースを2回発行、4～5月に『守る会活動報告集』の刊行と郵送があるが、手持ち資金と自主的な寄付金により運営し

ドキュメンタリー映画  
**ショージとタカオ**

## 地元・利根町で上映会

利根町公民館 11月27日（日）

（詳細は2面をご覧ください）



ていくことが確認されました。

また、布川事件の真実を多くの人達に知ってもらう上で、また、冤罪を生まない社会実現のために、

2010年度キネマ旬報ベスト・テン文化映画部門第1位、日本映画批評家大賞ドキュメンタリー作品賞、文化庁映画賞文化記録映画部門大賞を獲得するなど高

い評価を得ている「ショージとタカオ」の自主上映を呼びかけて行くことも確認されました。

（守る会事務局長・中澤宏）

「シヨージとタカオ」(監督・井手洋子)  
**昨年度につづき2つの受賞**

釜山国際映画祭、文化庁文化記録映画大賞



文化庁「文化記録映画大賞」を受賞する井手洋子さん(左)と写真・山川清子さん

釜山国際映画祭で

釜山国際映画祭では、正  
 式出品作品となった「シヨ  
 ージとタカオ」は2回上映  
 されました。2回目的上映  
 が行われる10月11日夕方  
 にあわせて、井手監督と共  
 に桜井恵子さんと私は釜山  
 に出かけました。

300人ほど入る会場に  
 70〜80人の観客だったでし  
 ようか。会場いっぱいとい  
 うわけにはいきませんでした  
 が、開始前には恵子さん  
 と英語と韓国語による布川  
 事件紹介のチラシを観客の  
 方に配りました。観客は映  
 画が好きな韓国の若い方の  
 です。

ようでした。英語と韓国語  
 の字幕付きの映画に、日本  
 で上映したときと同じよう  
 などところで笑うなどの反応  
 のあることを感じました。  
 映画終了後のトークでは、  
 井手監督と共に、桜井恵子  
 さんも前に出てお話しさ  
 れ、観客からの質問に答え  
 ました。30分ほどだったで  
 しょうか。その質問から、  
 井手監督が映画で伝えたか  
 ったことは伝わっているこ  
 とが感じられました。

14日に行われた釜山国  
 際映画祭の閉幕式は、5、  
 000人は入るといいう広い  
 会場で行われ、授賞式後、  
 原田真人監督の「わが母の  
 記」が上映されました。「シ

この数ヶ月、相変わらず  
 地方へ行く機会が多い  
 です。福井、兵庫、広島  
 新潟、北海道など、各地  
 で闘う人を布川事件の勝  
 利が励ましていることを  
 知りまして、改めて喜び  
 を味わっています。

どこへ行っても楽しい  
 エピソードが生まれます。  
 総てをお知らせしたい気  
 持ちですが、いくつかを  
 ご紹介しますと、救済会  
 兵庫県本部大会に招かれ  
 た神戸では、わざわざ私  
 のライブを組み込んだ交  
 流会が開かれました。そ  
 して、今度は支部の行事  
 に来て、歌と話をして欲  
 しいと求められました。  
 続いて行った広島では、  
 この兵庫での話を聞き及

んで、「今度は広島でもデ  
 イナーショーをやろう」  
 となり、具体的な実行委  
 員の話にまでなつたので  
 す。何かをする度に、次々  
 と活動の範囲が広がるの  
 は、本当に有り難いこと  
 だと思つて毎日です。

私たちの近況報告

楽しい出会いが次々生まれて

その活動の力になつて  
 ますのが、映画です。弁  
 護士会では可視化問題と  
 絡めて上映することが多  
 くて、私の今後の闘い  
 に、更に力になるだろう  
 と喜んでいます。井手さん  
 に感謝の思いでいっぱい

桜井 昌司

は100分以上、熱心に  
 聞いてくれました。その  
 感想文が届けられました  
 が、捜査や裁判の問題を  
 真つ直ぐに見つめるもの  
 ばかりでした。その感想  
 文で一番に嬉しかったの  
 は、私が「もう一度、生

まれ変わつても櫻井昌司  
 をやりたい」と語つたこ  
 とに対して、もう一度自  
 分をやりたいと言えるよ  
 うに生きて行きます、頑  
 張りますと、何人もの生  
 徒が書いてくれたことで  
 した。私の勝利は、皆さ  
 んにいただいたものでは  
 ず、私の勝利の上立つ  
 て、私には使命があると、  
 再認識した生徒たちの感  
 想文でした。

私的には、私の再審活  
 動を支えた利根町の家を  
 取り壊しました。今月末  
 にはCDを作成するな  
 ど、色々とありますが、  
 反省しない警察と検察を  
 追及する国賠を目指し  
 て、全力で立ち向かうつ  
 もりでいます。

# 利根町のみなさまに 感謝を込めて

## 「シヨージとタカオ」上映会(入場無料)

利根町教育委員会・我孫子市教育委員会後援

布川事件再審無罪の報告を兼ねて11月27日、利根町公民館で「シヨージとタカオ」上映会を行ないます。地元でご支援いただいた皆様への感謝を込めて、また次代を担う若い世代の方々に冤罪をなくす大切さを知っていただくために、参加費を無料とし上映費用を布川事件の支援者・団体のご寄付により賄いたいと存じます(個人1口1,000円、団体1口5,000円)ので、ご協力をお願いいたします。同封の振替用紙をご利用下さい。

なお、ご協力金額1,000円に付き入場券1枚を差上げます。

★『シヨージとタカオ』利根町上映会 11月27日(日)午後1時30分より  
利根町公民館(開場午後1時0分) 入場無料(先着300名様)  
交通機関は成田線布佐駅よりタクシー、または家用車でご来場ください。(駐車場200台)

★上映後 桜井昌司さん、井手洋子監督の舞台挨拶を予定しています。

★入場券をお持ちでない方には当日会場入口で整理券をお渡しいたします。

主催 『シヨージとタカオ』利根町上映実行委員会

委員長 入谷 栄(利根町在住 桜井友人)

お問い合わせは 松島 洋(守る会代表世話人・我孫子市議)事務所  
(Tel. 0471-89-3427)

10月22日は、六本木ヒルズで、平成23年度文化庁映画賞の授賞式がありました。これは、東京国際映画祭の一環として行われ、その年の優れた文化記録映画

として、これからも『シヨージとタカオ』がより多くの人たちに見ていただけるように、井手監督は、「受賞を力も後で合流しました。」

## 文化庁映画賞授賞式で

「シヨージとタカオ」はドキュメンタリー部門の最優秀賞をいただき、井手監督は他の映画の受賞者と共に表彰されました。ドキュメンタリー部門には計11作品が正式出品され、その中から、韓国から1作品とアジアから「シヨージとタカオ」が最優秀賞として受賞したのです。

作品と永年日本映画を支えてきた人を表彰するものです。「シヨージとタカオ」は、平成23年度文化記録映画大賞を受賞しました。他に優秀賞として、「里湖 八郎 瀧物語」「夢と憂鬱」吉野 馨治と岩波映画」が選ばれました。授賞式には、上映委員会のメンバーと共に、杉山利枝さん・吉田丈夫さんも参加しました。救

よう頑張っていきたい」とスピーチされていました。この映画が、より多くの人に多くの人たちに、えん罪があること、えん罪が人の人生を奪うものであること、どうしたらえん罪を無くすことができるか、を考えるきっかけになることを確信した二つの映画祭への参加でした。

(守る会・山川清子)

